

香川県後発医薬品のための研修会の 開催について

講演日時:2022年1月29日(土)13:30～15:30

場 所:香川県社会福祉総合センター

テ ー マ:後発医薬品の品質確保、信頼回復に向けた取組みについて

講 師:田中 俊幸(日本ジェネリック製薬協会 政策委員会政策実務委員長)

概 要:香川県内の医療関係者(医師、歯科医師、薬剤師等)、一般県民の皆さまに向けて当協会の取組みについて説明しました。

(講演実施後にいただいたご意見)

- 日医工の試験等でも生産効率をあげるためにGMPを遵守しなかったように感じるが、供給問題が発生する前から他社も含め、需要が大きいために各社ギリギリで供給していたということはあったのか？
- 成分ごとの供給状況を見ることの出来るサイトが間もなくできるとのお話があったが、薬を取り扱う側として、大変良いことだと思う。米国でもFDAがそのようなサイトを使用している。別の話題であるが、メーカー各社が増産体制を整えると、いずれ供給過剰になるように思うが、その際、グローバル市場に出て供給するというビジョンはあるのか？
- 県でも震災用備蓄等の医薬品を用意しているが、今回の供給不安により確保が難しかった。県としても一刻も早く事態解消につとめてほしい。
- これまでと違い広い視野から勉強させてもらった。あまり薬を作っている側の講演に触れたことがなかった。世界情勢をはじめ多くのことを学ばせてもらった。大学の学生(薬学部)を参加させてもらっているが、信頼回復に限らず、医療現場の人たち、薬剤師の卵に向けて、ジェネリック医薬品全般に関するメッセージをいただきたい。

(講師からご紹介したご意見:一般的に多くいただくご質問より)

- 供給不安に関わる情報提供は、GE薬協として各医療機関にしているのか？
- ジェネリック医薬品メーカーの数が多いのではないかと？